

省エネ設備改修にかかる補助金（R4年度補正・R5年度概算要求）

[2023年1月20日現在]

斜字：現時点では詳細不明のため昨年度の内容を記載

省庁	事業名	予算額	補助内容	補助率	補助額	申請期間〔R5〕 斜字は公募開始前 により前年度の参考	対象設備											対象		対象用途							
							空調	給湯	照明	ボイラ	変圧器	冷設	コックレサ	断熱	太陽光	蓄電池	発電機	他	新設	既存	工場	事務所	店舗	ホテル	病院	学校	住宅
経済 産業省	(A) (B) (D) 省エネルギー投資促進・需 要転換支援事業費補助金 (C) (D) 省エネルギー投資促進支援 事業費補助金	500億円 〔R4補正〕 ※	(A) 先進事業：高い技術力・省エネ性能を有する先進的な省エネ設備等の導入 (B) オーダーメイド型事業：個別設計が必要な特注設備等の導入・設備更新、プロセス改修等を行う省エネ取組 (C) 指定設備導入事業：省エネ性能の高いユーティリティ設備、生産設備等への更新 (D) エネルギー需要最適化対策事業：エネマネ事業者等と共同でEMS制御や高効率設備の導入、運用改善を行うより効 率的・効果的な省エネ取組 ※令4補正では国庫債務負担（後年分）含め総額1,625億円を措置→R5単年事業500億円＋複数年事業1,125億円	(A) 中小 2/3、大企業 1/2 （機器費＋工事費） (B) 中小 1/2、大企業 1/3 （機器費＋工事費） (C) 1/3（機器費のみ） (D) 中小1/2、大企業1/3 （機器費＋工事費）	(A) 100万～15億円 非化石転換20億円 (B) 100万 ～15億円 非化石転換20億円 (C) 30万 ～1億円 (D) 100万～1億円	申請3/3～4/5 (R3補正) 採択5/25 申請5/25～6/30 (R4) 採択8/31  R5本予算分は新規採択なし→R4補正で公募 R5は複数回に分けての公募の可能性	●	●	LED× 調光制 御機器 のみ	●	●	●	●	－	－	－	コックレサ	産業ヒートポン プ 工業炉 生産機器全般 印刷機器	－	●	●	●	●	●	●	●	－
環境省	工場・事業場における先導 的な脱炭素化取組推進事業 (SHIFT事業)	40億円 〔R4補正〕	(1) CO2削減計画策定支援 中小企業等における工場・事業場でのCO2削減目標・計画の策定 (2) 設備更新補助 A. 標準事業 「CO2削減計画」に基づく設備更新の補助 （工場・事業場単位で▲15%以上・主要システム単位▲30%以上） B. 大規模電化・燃料転換事業【R5本予算のみ】 主要なシステム単位で i) ii) iii) を全て満たす「CO2削減計画」に基づく設備更新の補助 i) 電化・燃料転換 ii) CO2削減量4,000t-CO2/年以上 iii) CO2削減率30%以上 C. 中小企業事業 中小企業等による「CO2削減計画」に基づく設備更新の補助 (3) 企業間連携先進モデル支援 Scope3削減目標を有する企業が主導し、複数サプライヤーの工場・事業業を対象とした計画策定・設備更新・実績評 価を2か年以内で行う取組	(1) 3/4 (2) A：1/3 B：1/3 C：1/2または 削減CO2量× 法定耐用年数× 7,700円/t-co2 (3) 1/3～1/2	(1) 上限100万円 （DX型計画は200万円） (2) A：上限1億円 B：上限5億円 C：上限0.5億円 (3) 上限5億円	－	(1) 申請4/13～6/20 (R4) 採択9/28 (2) 申請一次4/13～5/13 (R4) 採択7/29 申請二次8/2～9/2 (R4) 採択10/7	●	●	－	●	●	●	●	－	● 単独 不可	－	コックレサ	太陽熱	－	●	●	●	●	●	●	－
		36億円 〔R5〕																									
環境省	既存建築物等における省CO2 改修支援事業	58億円 の内数 〔R5〕	既存民間建築物において省エネ改修を行い30%以上のCO2削減、運用改善により更なる省エネの実現を目的とした体制 を構築する事業を支援	1/3	上限5,000万円	申請6/6～7/15 (R4) 採択8/下旬	●	●	－	●	●	－	－	－	－	－	－	BEMS 地中熱	－	●	－	●	●	●	●	●	－
環境省	大規模感染リスクを低減す るための高機能換気設備等 の導入支援事業	60億円 の内数 〔R4補正〕	不特定多数の人が集まる飲食店等の業務用施設に対して、高機能換気設備（全熱交換型の換気設備）をはじめとする高 効率機器等の導入を支援 新型コロナウイルス等の感染症の拡大リスクを低減するとともに、業務用施設からのCO2排出量を削減	2/3	上限2,000万円	申請一次3/17～4/19 (R4) 採択5/下旬 申請二次5/23～6/24 (R4) 採択7/下旬 申請三次7/25～8/31 (R4) 採択9/中旬	● 換気 必須	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	測定機器	－	●	－	▲ (不特 定多数 のみ)	●	●	●	●	－
環境省	コールドチェーンを支える 冷凍冷蔵機器の脱フロン・ 脱炭素化推進事業	70億円 〔R5〕	冷凍冷蔵倉庫、食品製造工場、食品小売店舗における脱炭素型自然冷媒機器の導入 （アンモニア、二酸化炭素、空気等、自然界に存在する物質を冷媒として使用した冷凍冷蔵機器）	1/3	上限5億円	申請一次4/11～5/13 (R4) 採択7/14 申請二次7/4～7/22 (R4) 採択9/12 申請三次9/5～9/22 (R4) 採択11/10 申請四次11/4～11/22 (R4) 採択	－	－	－	－	－	●	－	－	－	－	－	－	●	●	● 食品 工場 冷凍 倉庫	－	●	－	－	－	－
国土 交通省	既存建築物省エネ化推進事 業	66億円 の内数 〔R5〕	既存建築物の省エネ化の推進、民間事業者等が行う既存建築物の省エネルギー性能の向上に資する改修等 躯体（外皮）の省エネ改修工事、建物全体におけるエネルギー消費量が▲20%以上の省エネ改修工事	1/3	上限5,000万円 （省エネ設備は2,500万円）	申請一次～6/30 (R4) 採択9/21 申請二次9/27～10/31 (R4) 採択 申請三次 不明	●	●	●	●	●	●	－	● 必須	－	－	－	エレベータ 日射フィルム 測定機器 バリアフリー工事	－	●	－	●	●	●	●	●	－

建築物の省エネ改修にかかる補助金（R4年度補正・R5年度概算要求）

[2023年1月20日現在]

斜字：現時点では詳細不明のため昨年度の内容を記載

省庁	事業名	予算額	補助内容	補助率	補助額	申請期間〔R4〕 斜字は公募開始前 によりR3参考	対象設備										対象		対象用途								
							空調	給湯	照明	ボイラ	変圧器	冷設	コックレサ	断熱	太陽光	蓄電池	発電機	他	新設	既存	工場	事務所	店舗	ホテル	病院	学校	住宅
環境省	新築建築物のZEB化支援事業	60億円 の内数 〔R4補正〕 58億円 の内数 〔R5〕	新築ZEBに資するシステム・設備機器の導入を支援 ①レジリエンス強化型：災害時活動拠点になる公共性の高い業務用施設で補助率優遇 ②通常型【R5本予算のみ】	①1/2～2/3（R4補正・R5） ②1/2～3/5（R5）	上限5億円	申請6/6～7/15（R4）採択9/上旬	●	●	－	●	－	－	●	●	コックレサ	BEMS	●	－	－	10,000㎡未満							
																				●	●	●	●	●	－		
	既存建築物のZEB化推進事業	①2/3（R4補正・R5） ②2/3（R5）	上限5億円	申請6/6～7/15（R4）採択9/上旬	●	●	－	●	－	－	●	●	コックレサ	BEMS	－	●	－	2,000㎡未満									
																		●	●	●	●	●	－				
経済 産業省	ネット・ゼロ。エネルギー・ビル（ZEB）の実証支援	68億円 の内数 〔R5〕	民間の大規模建築物（新築：1万㎡以上、既築：2千㎡以上）について、先進的な技術等の組み合わせによるZEB化を支援	2/3	上限5億円	申請一次5/16～6/13（R4）採択7/29 申請二次8/8～9/12（R4）採択なし 申請三次9/20～10/17（R4）採択なし	●	●	● 制御付	●	－	－	●	●	●	コックレサ	エレベータ BEMS	●	●	－	新築：10,000㎡～ 既存：2,000㎡～						
																					●	●	●	●	●	－	
国土 交通省	サービス付き高齢者向け住宅整備事業	183億円 （内数） 〔R5〕	災害リスクへの対応や省エネ対策等の観点によるサービス付き高齢者向け住宅の改修工事 省エネ・再エネ対策を強化を目的に補助対象拡充、省エネではZEH相当水準の場合は補助率・補助限度額加算（1.2倍）、太陽光発電・蓄電池に1/10補助	〔住宅〕 新築 1/10等（上限70～135万円／戸） 改修 1/3（上限195万円／戸 等） 既設改修 1/3（上限10・35万円／戸 等） 〔高支援施設〕 新築 1/10等（上限1,000万円／施設） 改修・既設改修 1/3（上限1,000万円／施設）	申請4/1～R5. 2/28（R4）	●	●	●	－	●	－	－	●	●	●	太陽熱	エレベータ	●	●	－	－	－	－	－	● サ高住		

再生可能エネルギー導入にかかる補助金（R4年度補正・R5年度概算要求）

[2023年1月20日現在]

斜字：現時点では詳細不明のため昨年度の内容を記載

省庁	事業名	予算額	補助内容	補助率	補助額	申請期間〔R4〕 斜字は公募開始前 によりR3参考	対象設備											対象		対象用途							
							空調	給湯	照明	ボイラ	変圧器	冷設	コックレサ	断熱	太陽光	蓄電池	発電機	他	新設	既存	工場	事務所	店舗	ホテル	病院	学校	住宅
環境省	ストレージバリエティの達成に向けた太陽光発電設備等の価格低減促進事業	90億円 の内数 〔R4補正〕 42億円 の内数 〔R5〕	自家消費型太陽光発電設備の導入 （自家消費限定（非FIT）、10kW以上（住宅除く）10kW未満（住宅）、導入設備による発電量の50%以上（住宅除く）、30%以上（住宅）を導入場所の敷地内で自家消費すること）	太陽光 4～5万円/kW 蓄電池 6.3万円/kWh	上限 補助対象経費の1/3	申請一次3/31～5/9 (R4) 二次5/16～6/15 (R4) 三次6/20～7/29 (R4)	－	－	－	－	－	－	－	●	● 必須	－	車載型蓄電池 （EV・PHV）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
環境省	建物における太陽光発電の新たな設置手法活用事業		駐車場を活用した自家消費型太陽光発電設備（ソーラカーポート）の導入 （導入設備による発電量の50%以上を導入場所の敷地内で自家消費すること）	1/3	上限1億円	申請一次3/18～4/28 (R4) 採択7/26 二次5/9～5/31 (R4) 採択8/20 三次6/6～6/30 (R4) 採択9/22	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	－	●	－	－	－	－	－	－	－	－	
環境省	地域における太陽光発電の新たな設置場所活用事業		営農地・ため池・廃棄物処分場を活用した自家消費型太陽光発電設備の導入を行う事業	1/2	上限3億円	申請一次5/17～6/17 (R4) 採択8/16 申請二次6/27～7/27 (R4) 採択9/14	－	－	－	－	－	－	－	●	●	－	EMS 受変電設備	●	－	－	－	－	－	－	－	－	
環境省	未利用熱・廃熱を活用した設備導入事業		未利用熱（地中熱、温泉熱、河川熱、雪氷熱など）の活用や廃熱（工場から排出される廃熱など）を有効活用する設備導入を支援	1/2	未利用熱240,000円/t-CO2 排熱 150,000円/t-CO2	申請一次4/19～5/31 (R4) 採択7/22 申請二次7/12～8/10 (R4) 採択10/4	熱の空調利用不可	－	－	－	－	熱の冷設利用不可	－	－	－	－	ヒートポンプ熱交換器蓄熱設備	●	－	●	●	●	●	●	●	－	
環境省	（新規）熱分野・寒冷地での脱炭素化先行モデル創出事業		地域の再エネ電気・再エネ熱・未利用熱等を活用した、①熱分野でのCO2ゼロに向けたモデル、②寒冷地での脱炭素化のモデル、のいずれかに該当する先行的な取組について、その計画策定や設備等導入を支援	計画策定：3/4 設備等導入：2/3	計画策定：上限1,000万円 設備等導入：上限3億円	申請4/28～6/8 (R4) 採択7/20 ※R4は温泉熱利活用事業	▲温泉熱利用	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ヒートポンプ熱交換器温泉設備	●	●	－	－	－	●	－	－	－	
環境省	再エネ×電動車の同時導入による脱炭素型カーシェア・防災拠点化促進事業	10億円 〔R4補正〕	社用車等を率先して再エネ設備（太陽光発電）導入とセットでEV化、合わせて社内カーシェアリングを実施し従業員の通勤にも利用	EV・PHEV1/3 再エネ設備1/2 充放電設備費1/2工事費1/1	上限1億円	申請3/25～予算終了まで (R4) ※11/15現在 予算残額7億円	－	－	－	－	－	－	－	●	－	－	EV・PHEV 充放電設備 外部給電器 急速充電器	●	●	●	●	●	●	●	－		

【補助金についての相談窓口】一般社団法人ふくいエネルギーマネジメント協会 TEL:0776-50-2808

補助金の活用は事前準備が重要です。（一社）ふくいエネルギーマネジメント協会では、省エネガイドラインを活用した省エネ取組みへの支援をはじめ、省エネ診断や設備導入に向けた補助金導入のアドバイスを行っています。